

2020年 9月17日

京成バス株式会社

～ 一日も早い新型コロナウイルスの終息を願って ～

**従業員が考案した『地域応援バスマスク』を掲げて運行します**

**全20種類、計200台の路線バスに装着 9月20日（日）より運行開始！**

京成バス（本社：千葉県市川市、社長：齋藤 隆）では、従業員が考案した「地域への応援メッセージ」や、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策の呼びかけ」を記載した『バスマスク』を路線バスの前面部に装着し、9月20日（日）から運行します。



これは、9月20日の「バスの日」の記念行事の一環として企画したもので、コロナ禍の不安が広がる中、地域に少しでも明るい話題を提供し、バス事業への理解と親しみを深めていただく目的で実施するものです。

今回製作した『バスマスク』は全20種類で、いずれも従業員が考案したものです。医療従事者をはじめ、コロナ禍で奮闘し続ける方々への応援や、感染拡大防止を呼びかけるメッセージなど、計200台のバスに掲げて運行します。

なお、本企画は京成グループの他のバス事業者においても順次実施予定です。

以上

**【ご参考】 バスの日について**

国内で初めてバスが走った日（1903年9月20日）にちなみ、1987年10月に記念日として制定されました。「広く一般にバスへの親しみとバス事業への理解を深めてもらうこと」を目的として、毎年、各都道府県のバス協会を中心に、各バス事業者が様々なPR活動を展開しています。